

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社 川上 )

## SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) ([非該当]を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
						1 1.2 未実現	2 2.1 未実現	3 3.1 未実現	4 4.1 未実現	5 5.1 未実現	6 6.1 未実現	7 7.1 未実現	8 8.1 未実現	9 9.1 未実現	10 10.1 未実現	11 11.1 未実現	12 12.1 未実現	13 13.1 未実現	14 14.1 未実現	15 15.1 未実現	16 16.1 未実現	17 17.1 未実現
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別をしない体制を構築している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ体制を整備している。長野県社員の子育て応援宣言にも登録している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・労働基準法の改正内容を経営者を含めて共有している。長時間労働是正のため1年単位の変形労働時間制も導入し、多様な勤務体制の対応・整備を図っている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	・現在外国人及び外国人技能実習生は雇用していないが、雇用した場合には適切な処遇や労働環境の整備を行う予定である。					4.4			8.7 8.8	10.2 10.3								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・職場の安全衛生を確保するため、法令順守や相互協力して災害の未然防止に努めるように周知徹底している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本		【予定】	職場のメンタルヘルスに対応した就業規則の整備見直しを進めている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・多様な人材が最大限能力を発揮できる職場環境を整備している。特に、若手技能者の育成に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・業務に必要な国家資格や技能検定取得に向け、支援制度を整備し社員のキャリア形成を図っている。				4	5.5		8	9									
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備、対応を行っている。					5.5			8.5	10.2 10.3								
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ		【予定】	・都道府県協会けんぽ、健保連で「健康企業宣言」を行う予定である。さらに、会社負担でインフルエンザ予防接種も実施する予定である。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・産業廃棄物量を継続記録し、その分別処理を行っている。													11.6	12.4		14.1	
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気、水道、ガソリンの使用量を継続記録している。								7.3						13			
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			エアコン室外機を点検し、フロンガス排出の抑制に取り組んでいる。								7.2 7.3					12.4	13.3			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		・法令等で規制されている有害化学物質の取り扱いはないため、非該当です。				3.9			6.3					11.6	12.4				

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1 1.2 人材	2 2.2 資源	3 3.2 エネルギー	4 4.2 農業	5 5.2 水	6 6.2 森林	7 7.2 生物多様性	8 8.2 気候変動	9 9.2 資源循環	10 10.2 資源効率化	11 11.2 資源回収	12 12.2 資源供給	13 13.2 資源開拓	14 14.2 資源利用	15 15.2 資源保護	16 16.2 資源再生	17 17.2 資源持続
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・作業する森林の自然環境を把握して、生態系に悪影響を及ぼさない作業方法による業務遂行を通じて、生物多様性の保全に努めている。								6.6								15	
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・作業現場における資材の削減及び再利用を推進している。さらに、資材管理の見える化にも取り組んでいる。														12.5	14.1		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・毎月の水道使用量を把握し、節水に取り組んでいる。								6.4 6.6									
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ		【予定】	・エコアクション21を取得する予定である。				3.9			6	7						12	13.3	14	15
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	・今後、ホームページ上で環境への取り組みに関する情報を公開する予定である。														12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			・循環型林業によるエネルギーの地産地消を目指しており、地元産薪製品の需要拡大に取り組んでいる。								7.2						13			
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでおり、正規認証製品を使用している。													12.2	13	14	15	
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則服務規律の中で、汚職、贈収賄を禁止する方針を掲げ周知徹底している。																16	16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則服務規律のなかで、不正競争行為に関与しない方針を掲げ周知徹底している。																16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・特許権、著作権などの知的財産権の不正利用や侵害する行為を行わないことを周知徹底している。							8.2 8.3	9									
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・個人情報の取り扱いについて、個人情報保護、個人情報の利用等法令を遵守している。																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		・紛争鉱物の取り扱いは行っていない。																	16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・基本的に業務は自社内で完結している。薪製品の販売先とは円滑な顧客・パートナー関係を築いている。					5		8	10		12	13	14	15	16	17		
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本			・サプライチェーン全体の付加価値向上を目指して、「パートナーシップ構築宣言」を作成、公表している。		3					8	9	10							17	



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定